

第 124 回 関東連合産科婦人科学会

専攻医向けセミナー 「産婦人科専攻医研修の要点 (ツボ)」

1. 主催

山梨県統一産婦人科専攻医研修プログラム管理委員会

2. 日時

第 1 部 平成 24 年 10 月 28 日 12:10 ~ 13:00 (お弁当付き)

第 2 部 平成 24 年 10 月 28 日 13:50 ~ 15:20

(第 124 回 関東連合産科婦人科学会の学会中に併催)

3. 会場

甲府富士屋ホテル 1 階 昇仙 (西)

第 124 回 関東連合産科婦人科学会の第 3 会場

4. 趣旨

日本産科婦人科学会は、産婦人科の「専門医」資格の取得に必要な知識・技能・態度の水準を、専攻医研修（後期研修）目標ならびに評価表に明示している。産婦人科専攻医は、学会が指定した研修病院における 3 年間の産婦人科の専攻医研修によって、この目標に到達する必要がある。さて、この到達目標では、産婦人科の主要な 4 つの分野について偏りなく幅広い症例を経験し、かつ、これらの分野についての十分な知識を身につけること、さらに、基本的術式をはじめとする産婦人科医としての技能・態度を習得すること、が求められている。

産婦人科専攻医は、こうした専門医資格取得に向けた研修を行うとともに、産婦人科医療の重要な担い手として日常的な臨床業務を遂行することが求められており、多くの時間を後者に割かなければならない。また、大学病院等においては、専攻医の研修は病棟での研修に重きが置かれ、外来研修に多くの時間を割くことができないことも少なくない。このため、産婦人科専攻医は、前述の研修目標をクリアするために、計画的かつ意識的な研修を行う必要がある。

今回企画した専攻医向けセミナーは、現在、産婦人科の専攻医研修を開始している先生方、また、これから産婦人科の専攻医研修を開始しようとしている先生方を対象として、産婦人科専攻医研修の要点（ツボ）について、産婦人科専攻医研修のベテラン指導医から解説していただくことを目的としたものである。

内容的には、「周産期」、「生殖医療」、「婦人科腫瘍」ならびに「女性医学」の4つの専門分野、ならびに、「医療面接、医療倫理、医療安全、法制度や学会会告、等の総論的分野」の5つの講義を行い、質疑応答を行う。なお、本特別企画は、これら各分野の研修内容を系統的・網羅的に解説しようとするものではなく、とくに専攻医にとって理解しづらい点、研修中に遭遇することが少ないけれども必ず学習すべき点、婦人科腫瘍における臨床進行期分類の改訂など、最近変更されたばかりであるが必ず記憶・習得すべき事項、等に焦点を絞って講義を行う。講義は、山梨県統一産婦人科専攻医研修プログラム管理委員会が、山梨県下の産婦人科専攻医の指導のために作成した冊子を用いて行う。

本セミナーが、産婦人科専攻医の先生方の研修に有用なものとなり、先生方の研修を推し進めるものとなることを期待する。

5. 担当予定（変更される場合があります。）

第1部

座長 端晶彦先生、奈良政敏先生（山梨大）

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| (1) 「はじめに」 | 管理委員会（平田、山梨） | 5分 |
| (2) 「総論的分野」 | 大森真紀子先生（山梨大） | 15分+5分質疑 |
| (3) 「周産期」 | 澤倫太郎先生（日本医大） | 20分+5分質疑 |

第2部

座長 端晶彦先生、奈良政敏先生

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| (4) 「婦人科腫瘍」 | 阪埜浩司先生（慶応大） | 20分+5分質疑 |
| (5) 「女性医学」 | 榊原秀也先生（横浜市大） | 20分+5分質疑 |
| (6) 「生殖医療」 | 笠井剛先生（山梨大） | 20分+5分質疑 |
| (7) 「まとめ」 | 座長 | 15分 |

6. 使用する冊子

「産婦人科専攻医研修の要点」(管理委員会 編)

7. 講義の概要

上記冊子を用いて、産婦人科専攻医研修の要点を概説する。

この冊子は、産婦人科専攻医が研修すべき内容を網羅的・系統的に解説したものではなく、とくに産婦人科専攻医が研修中に理解しづらい内容、実際に経験する可能性は低いものの知識を会得すべき内容、最近改訂された診断基準、等に焦点を絞ってまとめたものである。本セミナーでは、この冊子の項目のすべてを概説するのではなく、その中でもとくに重要な事項について重点的に解説する。

8. 参加資格ならびに参加方法

(1) 参加資格

第124回 関東連合産科婦人科学会に参加手続きしてください。

このセミナーへの参加資格はとくに設けておりません。専攻医の先生方だけでなく、専攻医の指導に当たられている先生方、また、初期研修医の先生方の参加も歓迎いたします。

(2) 参加方法

事前登録等の必要はありません。当日のセミナー開始前に、会場入り口で上述の冊子を受け取ってご参加ください。